

江戸の美  
須田悦弘による

The Beauty  
of Edo Period:  
Yoshihiro Suda

2012年10月30日|火| - 12月16日|日|  
千葉市美術館

開館時間: 10:00 - 18:00 [金・土曜日は20:00まで] ※入場受付は閉館の30分前まで  
休館日: 第1月曜日 [11月5日、12月3日]  
観覧料: 一般 200円 [160円] 大学生 150円 [120円]  
※同時開催「須田悦弘展」入場者は無料  
※小・中学生、高校生、千葉市内在住60歳以上または千葉県在住の65歳以上の方、  
および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
※[ ]内は団体30名以上の料金

主催: 千葉市美術館

須田悦弘展

Yoshihiro  
Suda

2012年10月30日|火| - 12月16日|日|  
千葉市美術館

開館時間: 10:00 - 18:00 [金・土曜日は20:00まで] ※入場受付は閉館の30分前まで  
休館日: 第1月曜日 [11月5日、12月3日]  
観覧料: 一般1000円 [800円] 大学生 700円 [560円]  
※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
※[ ]内は前売・団体20名以上、および市内にお住まいの60歳以上の方の料金  
※前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ [10月21日まで]、  
ローソンチケット [Lコード: 38099]、セブンイレブン [セブンコード: 019-162]、  
千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口 [12月16日まで]にて販売。

主催: 千葉市美術館 協力: ギャラリー小柳



本物と見紛うほどリアルな花や草の木彫で知られる作家、須田悦弘。自ら制作した木彫を、美術館の展示室や古い建物の片隅に忍ばせ、作品のためにつくられた建屋内に納め、ときには過去の名品と組み合わせで展示します。とても小さな花や草の木彫を置くだけで、無機的な展示室さえも、魅力ある空間に変貌させてしまいます。日本の伝統を想起させる木彫という手法と花というモチーフにこだわりつつも、それらをインスタレーションという新しい手法と結びつける彼の活動は、1990年代中頃以降、現代アートのみならず、幅広い領域から注目されてきました。

本展では、最初の作品《銀座雑草論》(1993)から、代表作《泰山木：花》(1999)と《睡蓮》(2002)を経て、新作《芙蓉》に至るまでの須田の仕事を紹介します。美術館エントランス・ホール(さや堂ホール)として保存されている昭和2年建造の洋風建築(旧川崎銀行千葉支店)でも、この場所のためにつくられた新作を展示。さらに7階展示室では、日本美術に造詣が深い作家自ら、千葉市美術館のコレクションから江戸時代の絵画・版画の名品を選び、「須田悦弘による江戸の美」展を開催します(詳細は右ページをご覧ください)。

大作を中心に15点あまりの作品から構成される本展は、これまで開催されてきた数多くの須田悦弘展をしのぐ、過去最大規模の個展となります。この機会にぜひ、須田作品の繊細な美しさをご堪能ください。



《東京インスタレーション》1994年 山梨県立美術館委託



《百合》1998年 東京国立近代美術館蔵



《泰山木：花》1999年 千葉市美術館蔵

## 関連企画

### ◎須田悦弘 公開制作

須田悦弘がまる1日かけて《雑草》を公開制作し、完成後、展示室内に設置します。作家の精密な木彫技術を直接間近でご覧いただけます。(作業中に随時休憩をとることがあります。時間内であれば、自由に観覧可能です。)  
11月11日(日) | 10:00より17:00まで  
11階講堂にて | 観覧無料

### ◎須田悦弘 講演会

スライドを用いて、須田悦弘が自作を解説します。  
11月18日(日) | 14:00より(13:30開場)  
11階講堂にて | 定員150名 | 聴講無料  
[申込方法] 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号、参加人数(2名まで)を明記の上  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 須田悦弘講演会 係まで(10月31日(水)必着)  
※1人1通まで、申込多数の場合は抽選

《雑草》2008年



《睡蓮》2002年 アサヒビル大山崎山荘美術館蔵



# 須田悦弘展

Yoshihiro Suda



長澤蘆雪《花鳥蟲獸図巻》(部分)



葛飾北斎《権遊拳三番続之内 紙》



鈴木春信《三十六歌仙 紀友則》

「須田悦弘展」開催にあわせ、7階展示室では、須田自ら千葉市美術館のコレクションから選んだ江戸絵画・版画の名品を展示します。さらに会場の随所で、出品作品と自作の花の木彫を組み合わせ、時代を超えた美の競演を演出。これまでにないユニークな古美術作品の展示を試みます。

須田悦弘は、2000年、大倉集古館で開かれた「拈華微笑—仏教美術の魅力」で、国宝の《普賢菩薩像》のケース内に小さな《雑草》を忍ばせました。彼自身「私にとってターニング・ポイントとなった展示のひとつ」とこの展覧会を評しているように、以後も機会あるごとに、古美術作品と自作の木彫を組み合わせた展示を行ってきました。通常のインスタレーションとはひと味違った、古美術と現代美術のコラボレーションの魅力をお楽しみ下さい。



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》



喜多川歌麿《画本虫撰》

### ◎ギャラリートーク

担当学芸員による | 10月31日(水)  
ボランティアスタッフによる | 会期中の毎週水曜日14:00より(10月31日のをのぞく)

## ┆DIC 川村記念美術館との提携

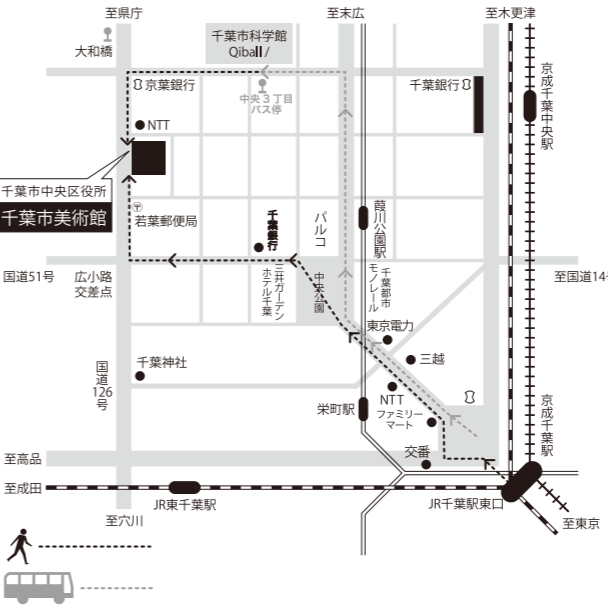
本展では、より多くの方に現代美術に親しんでいただくために、千葉県佐倉市にあるDIC川村記念美術館と提携を行います。両館をお得に回れる相互割引や無料往復バスなどを使って、現代美術を堪能しませんか？

### ◎チケット半券提示による相互割引

DIC川村記念美術館で開催される「中西夏之展」と会期が重なる期間中(10月30日~12月16日)に相互割引を行います。対象チケットの半券(有料券のみ)をご呈示いただいたお客様には、入場料を割引させていただきます。  
千葉市美術館：一般1000円→700円 大学生700円→490円  
DIC川村記念美術館：一般1200円→1000円 学生・65歳以上 1000円→800円

### ◎無料往復バス

「須田悦弘展」とDIC川村記念美術館の「中西夏之展」の会期が重なる期間の土・日曜日に、両館を往復する無料バスを運行します。  
運行日:  
11月 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日  
12月 1, 2, 8, 9, 15, 16日  
千葉市美術館発(美術館エントランス前から発着)  
12:00 | 14:00  
DIC川村記念美術館発(美術館無料バス乗り場から発着)  
13:00 | 15:00  
※所用時間：約40~50分(交通状況により所用時間が変わることがあります。)



## ┆次回展予告

「Kimono Beauty –シックでモダンなきものたち–」  
2013年1月4日(金)~2月11日(月・祝)

## ┆交通案内

◎JR千葉駅東口より  
徒歩約15分 | バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分 | 千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分  
◎京成千葉中央駅東口より 徒歩約10分  
◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く  
◎千葉市中央区役所と同じ建物です。  
◎地下に区役所と共有の機械式駐車場がありますが、混雑時にはご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

## 千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
TEL: 043-221-2311 <http://www.ccma-net.jp>

